

危険！こわい！から自分を守る安全対策

一番大切なことは、大人が努力をして安全な町を作ることですが、きみたち自身にも自分の身を守る対策を知ってほしいのです。

誘拐・連れ去り

- 犯行は午後3時～6時ごろに集中している。
- 毎日利用する通学路などは、犯罪者にとって絶好の犯行場所。

犯罪者がよく使う、子どもをだます言葉

- ★「きみの家の人が事故にあって入院している。いっしょに病院に行こう」
- ★地図を広げながら「ココに行きたいんだけど、道を教えてくれる？」
- ★「家の人がきみを呼んでいるから、すぐに行こう」
- ★「ゲームをもらえるアンケートがあるんだけど、やらない？」
- ★「〇〇をかってあげるから、スーパーへ行こうよ」 などなど・・・

被害にあわないために

① 相手が知っている人でもついて行かないこと

やさしそうに見える人や知っている人でも、親や先生の許可なしについて行ってはいけない。相手に名前を教えることもしないでね。

② 車がとまっていたら、中にだれかいるかを確認する

とまっている車の中にだれかいたら、その車からできるだけ離れて歩こう。すぐに走って逃げられる準備もしておこうね。

③ 連れて行かれそうになったら、大声を出す

車に引きずりこまれそうになったら、大きな声でさけんで逃げよう。防犯ブザーを鳴らそうね。

チカン・いたすら

- 背後から急に抱きつかれたり、すれちがいざまにからだを触られる。
- 犯行時間は夕方が多く、明るい時間にターゲットを見つけてから、先回りしてまちぶせたり、後をつけて人目のつかないところで抱きついてくる。

被害にあわないために

① 周囲を気にしながら歩く

見通しの悪い場所に人がひそんでいないか、つねに確認しながら歩こう。携帯電話を歩きながら使わないこと。

② 襲われたら、大声をあげて逃げる

もし襲われてしまったら、大きい声を出して、人のいる場所へ逃げよう。防犯ブザーも鳴らそうね。